

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2014年 No.316

発行：埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

Tel.048-296-4771

Fax.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

2

健康で笑顔あるまちづくりを進める取り組み

HPH国際ネットワークへの加盟

昨年10月28日、埼玉協同病院はHPH国際ネットワークに加盟しました。

HPHとは、Health promoting hospitals & Health Services（健康増進活動拠点病院）の略で、医療機関として通常の医療、看護を提供するだけでなく、患者や職員、地域の住民に対して「健康づくり」の活動を提供する病院を意味します。HPHは、1988年にWHO（世界保健機構）ヨーロッパ事務局が中心になって創設され、その後全世界にネットワークが広がり、現在では900を超える病院などの組織が加盟しています。

この取り組みは、私たち医療生協が発足した

当初から取り組んできた、組合員の「健康づくり」そのもので、むしろより先駆的といってもよいかもしれません。

医療生協がこれまで行ってきた、医療・保健・介護、地域まるごと健康づくり・明るいまちづくり運動などを、住民である組合員と職員が一体となってすすめるヘルスプロモーション活動は世界に類がありません。

HPH国際ネットワークへの参加によりさらに世界・アジアなどの国際的連携を深め、グローバルな視点からヘルスプロモーションを考える機会として期待できます。

当院では、昨年4月より「1職場1HPH」を

掲げ、「健康づくり」の取り組みを行ってきました。（※3面にて取り組み内容を紹介）

HPHでは、エビデンス（科学的な根拠）やアウトカム（成果）を明らかにすることが

求められています。まだまだ模索の状況ですが、わたしたちの取り組みをきちんとまとめ、どんどん世界に発信していきたいと考えています。



（副院長 福庭 勲）

2013年度 医療懇談会開催のご案内

今年の医療懇談会は『私たちの生活はどうなる?!危ない社会保障改悪のシナリオ!!』～社会保障の改悪を許すな!!～をテーマに医療や介護を考える機会にしたいと思います。気軽に話し合える懇談会ですので、ぜひ、ご参加ください。（病院利用委員会）

	ブロック	支部名	開催日	開催時間	会場
協同病院 医療懇談会	A	根岸	2月5日(日)	13:30～15:30	根岸公民館
	A	道合・神戸	2月7日(金)	13:30～15:30	道合西町会会館
	C	鳩ヶ谷辻	2月13日(日)	14:00～16:00	鳩ヶ谷里公民館
	A	伊刈・芝	2月14日(金)	13:30～15:30	芝下町会会館
	B	東川口	2月14日(金)	13:30～15:30	ミニコープ戸塚東店
	B	新郷	2月15日(土)	13:30～15:30	新郷公民館
	C	鳩ヶ谷里	2月17日(月)	14:00～16:00	鳩ヶ谷里集会所
	A	源左衛門	2月17日(月)	13:30～15:30	西原町会会館
	C	鳩ヶ谷中央	2月20日(木)	14:00～16:00	坂下3丁目第2集会所
	B	安行	2月21日(金)	13:30～15:30	樹里安
	A	木曾呂東内野	2月22日(土)	13:30～15:30	協同病院B館6階
	A	柳崎	2月22日(土)	13:30～15:30	芝北公民館
	A	芝南	2月26日(日)	13:30～15:30	芝公民館
	B	戸塚中央	2月27日(日)	13:30～15:30	ミニコープ戸塚東店
	A	神根東	2月28日(金)	13:30～15:30	神根東公民館
	B	安行慈林	2月28日(金)	13:30～15:30	さつき町町会会館
A	芝西	3月20日(日)	13:30～15:30	芝西公民館	

	ブロック	支部名	開催日	開催時間	会場	
協同病院 医療懇談会	A	芝北	3月29日(土)	13:30～15:00	芝北公民館	
	C	鳩ヶ谷桜町	3月29日(土)	13:00～16:00	さくらプラザ	
	B	戸塚南	3月予定			
	B	差間	3月予定			
さいわい 医療懇談会	C	鳩ヶ谷南	1月31日(金)	14:00～16:00	やすらぎ会館	
	C	中青木	2月7日(金)	10:00～12:00	さいわい診療所	
	C	西並	2月18日(日)	10:00～12:00	並木公民館	
	D	幸栄本町	2月19日(日)	14:00～16:00	栄町公民館	
	C	前川	2月21日(金)	13:00～16:00	前川公民館	
	C	上青木	2月21日(金)	14:00～16:00	コープメイト	
	C	南平	2月24日(月)	14:00～16:00	南平公民館	
	C	青木	調整中			
川口 診療懇談会	D	西川口1	1月30日(日)	14:00～16:00	川口診療所	
	D	西川口2				
	D	西川口3				
	D	蕨	2月18日(日)	13:30～15:30	蕨市南町公民館	
	D	戸田	2月27日(日)	調整中		

専門職シリーズ② 呼吸療法認定士の紹介

患者様へのより良い呼吸療法のために

呼吸療法と聞いて、どのようなことを想像されたでしょうか。呼吸療法とは血液中の酸素濃度が低い場合などに行う酸素療法、薬液を吸入する吸入療法、気道にチューブを入れて行う人工呼吸療法、呼吸筋が低下してしまった患者様の呼吸訓練等の呼吸理学療法などがあります。また入院患者様だけにとどまらず、医療機器を用いた在宅患者様も対象になります。

呼吸療法認定士とは、このように呼吸療法に関する専門的な知識と技術を習得した者に与えられる資格です。臨床工学技士、看護師、理学

療法士が対象で当院では計8名が資格を有し、患者様へのより良い呼吸療法に日々奮闘しています。

特に人工呼吸器を装着されている患者様は、各職種が知恵を持ち寄り、検査データから現在の人工呼吸器設定について検討したり、人工呼吸器からの離脱の時期の検討や設定条件の検討、安全に装置が使用されているかなどの点検も行っています。患者様の体位による痰の排出や、呼吸筋訓練、人工呼吸器関連肺炎予防のための口腔ケアなども重要なケアの一つです。

実際に行うだけでなく、医師や看護師からの相談にも乗っています。呼吸療法に関する専門的な知識を今後もさらに深めて各々の職種において呼吸療法を習熟し、呼吸管理を行う医療チームの一員として、患者様のためにがんばっていきたいと思います。



臨床工学技士
呼吸療法認定士
吉川 雪子

シリーズ 医療の質の改善 ⑧ 「予期せぬ再入院」を減らすために

当院では、医療の質を定量的に測るための指標を300以上設定しています。測定値をもとに課題を明らかにして改善策を立てたり、実行したことが改善にむすびついているかどうかを確かめながら、継続的な改善を図るためです。今回は、『予期せぬ再入院』を減らす取り組みについてです。

『予期せぬ再入院』というのは、「病状がよくなって（治癒または軽快）退院したと思ったのに、短期間のうちに再度入院になってしまった」という状況のことです。当院では退院後42日以内の再入院を、入院治療の達成度を表す指標として測定しています。再入院となる理由には、計画的な再入院や、状態が良くないが諸事情を勘案していったん退院とする場合、治療の対象となった病気の悪化や再発・合併症の発症、入院前から存在していた病気（併存症）の悪化、新たな病気の発症やけがなどがあります。入院医療の質を高めるためには、患者様やご家族の方が入院の可能性を予期していなかった再入院（新たな病気やけがは除く）は、ある程度「防ぎ得る再入院」であり、これを減らすことが入

院治療の質を高めることにつながると考えています。『予期せぬ再入院』の割合は、2013年11月までで1.3%で、公表されている2012年度DPC病院の平均1.81%と比べると高くないものの、図のように増加しています。

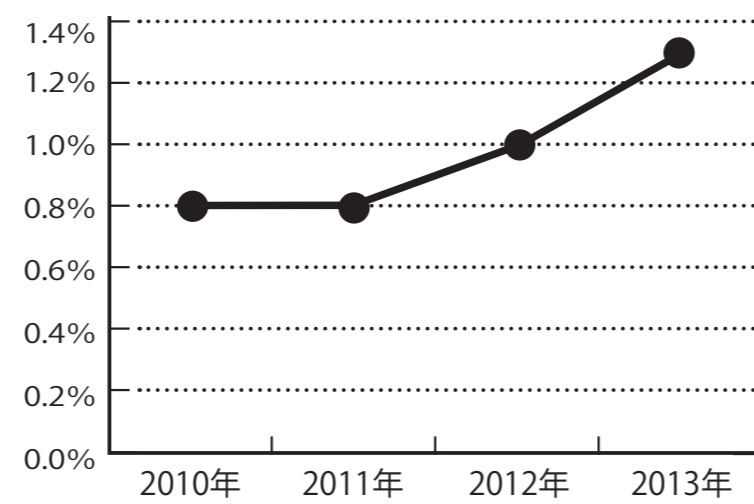
『予期せぬ再入院』を減らすには、退院時に医療スタッフが予測できる病状悪化や再発、合併症などのリスクを軽減するための、退院後の療養生活における注意や過ごし方などについて、情報提供をすることが大事です。患者様だけでなく患者様をサポートする方にも、十分理解していただき実行できるような具体的な方法などを、口頭と紙面（手元に残るもの）とで提供することです。口頭説明のみでは、退院後にご説明内容を確認できず、不安な状況が生じてしまいます。疾患ごとに悪化や再発を防ぐための手立ては、療養されるご家庭・施設の状況によっても違ってきますので、それらをきちんと把握したうえで適切な方に情報提供し、一緒に話

し合いながら進めることが求められます。

患者様や家族の方からも、ぜひ退院後にどんなことに気をつけるのか、どうすればいいのか、困ったときにどうすればいいのかまで質問し理解していただくことはとても大事です。医療スタッフと、患者様・家族の方が協力して医療の質の改善へとつなげていきたいと考えています。

（診療情報部）

図 予期せぬ再入院割合



埼玉協同病院の関連施設のご紹介 2 さいわい診療所



幸町の薬局の一室から診療を始め今年で開設60周年を迎えることが出来ました。現在は、地域に根ざした診療所を目指し中青木にて診療を行っています。さいわい診療所では初期研修医を迎え、外来研修のほか、班会の健康講座、組合員さんと一緒に放射線測定など、「地域で医師を育てる」ことを行っています。また、医療福祉生協連の「高齢者にやさしい診療所」の取

り組みを通じて、認知症の学習会を開催したりとステップアップした在宅療養支援診療所を目指し日々研修を続けています。川口診療所、浦和民主診療所とも連携して、24時間体制で在宅医療を支える体制の整備も行っています。

センター病院である埼玉協同病院とは引き続き救急時の対応やCT、MRI等の検査の依頼、また、退院患者様の病診連携でのフォローを密接に行っていければと考えております。

所長：関口 由希公



診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~13:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 14:00~17:00	—	○	○	○	—	—	—

※月・水・木・金は夜間診療（18:00~21:00）もあります。

【診療科】内科
【休診日】月曜日、金曜日と土曜日の午後、日・祝祭日

H (Health) P (promoting) H (hospitals and health services)

ヘルスプロモーション （健康増進の取り組み）

職場でのヘルスプロモーションの取り組みを紹介します。

リハビリ意欲を高める活動 患者様同士のコミュニケーションの場

整形外科病棟では、毎日15:00に「これから病棟歩行の時間です」という一斉放送がされ、音楽が流れます。すると、ご自身で歩行できる患者様が廊下に出てきて、反時計周りに歩行します。見守り、介助が必要な患者様の転倒予防のため看護師も参加します。6ヶ月間実施し、軽快な音楽に合わせて患者様と共に歩くことで、自然と明るいコミュニケーションも増え以前よりも活気ある病棟の姿をみることができるようになりました。また、患者様同士のコミュニケーションも増え「私もがんばらなくちゃ」

とリハビリへの意欲につながるような声も多聞かれるようになりました。

患者満足度アンケート結果では、「入院中は退屈だったが歩行の時間が楽しかった」「歩行時間にいろいろな人達の顔を見ながら、話をしながら歩けた」「歩けることに喜びを感じられた」「音楽があって気持ちがはずんだ」「15時が楽しみ」などの声が聞かれました。

今後も、リハビリへの意欲が高まるような取り組みを継続して行っていききたいと思います。（D2整形外科病棟）

禁煙の取り組み

たばこの害を知っていただき煙のない家庭づくりを

当院は来院された方々に、たばこの害を知っていただき、禁煙を希望する方への禁煙支援に取り組んでいます。

取り組んでいるのは、健康増進センター・妊娠中の方を対象としたうぶ声学校・外来・病棟・手術が決まった方の術前に通う麻酔科外来です。

健康増進センターでは、健診受診された方が目に留まるところに、たばこの害を知っていただくためのニュースを掲示し、問診で喫煙していると答えられた方に、禁煙外来の紹介のパンフレットの配布を行っています。また、健診受診した健康保険ごとに喫煙率を出した結果、国保14.1%、社会保険被扶養者8.5%と比較すると、協会健康保険38.2%、土建健保39.3%が高く、事業所ごとの禁煙の取り組みの支援も始めています。

外来では、喫煙状況を把握するため、延べ5,337人の患者様にご協力をいただき、調査を行いました。喫煙率は20%で、30歳代から60歳代の喫煙率が高いことがわかりました。喫煙さ

れている方には、主治医より「禁煙のすすめ」をお渡しし禁煙につなげています。

麻酔科外来では、手術前の患者様に対して術前の禁煙のアドバイスをさせていただいております。

また、うぶ声学校でもたばこの害を伝えています。胎児に与える影響や恐ろしさ、「新しい家族を迎えるにあたって煙の無い家庭づくりを」とお話ししています。



忘れ物、落とし物は総合受付へお問い合わせください

問 先日友人とお見舞いに来ました。その後、友人がお気に入りのマフラーを落としたとガッカリしていました。本日、受付で聞いたところ保管されていました。友人も喜ぶと思います。届けてくださった方、ありがとうございました。

答 ご友人のマフラーが見つかったことは当院としても大変うれしく思っております。院内の忘れ物・落とし物は、総合受付で3ヶ月間お預かりしております。紛失の際には、お早めに総合受付にご相談ください。

回答者：富樫 勝幸（外来医事課長）



第146回

尿潜血編

今回は尿潜血検査についてお話ししたいと思います。

潜血とは目で見えないくらいの微量な血液が混じっている状態のことです。尿が赤く濁り、目で見ても尿に血液が混じっているのが分かる状態のことは肉眼的血尿といえます。

主に腎・尿路系に炎症や損傷、腫瘍があると、そこから出血し、尿の中に血液が混入するため、尿潜血検査は陽性を示します。

この尿潜血検査が陽性になる割合は、男性より女性の方が多く、年齢が高くなるにつれて陽性率が上がる傾向があります。

この尿潜血検査が陽性になる原因には、激しい運動後や発熱・過労などにより起こる生理的な血尿や、女性では生理中のために尿に血液が混じってしまうために起こる血尿などがあり、病的でないものが多いです。

尿潜血検査は一般的に試験紙を使って検査が行われます。この方法の場合、尿に大量のビタミンCが含まれていると偽陰性（本当は陽性なのに陰性になってしまうこと）があります。検査の前日は清涼飲料水やジュースなどビタミンCを多く含むものの採りすぎには注意しましょう。



入院中の歩行時間、音楽に合わせて看護師と患者様が一緒に歩きます



看護師より禁煙パンフレットの配布を行っています



禁煙希望の方は、職員にお声掛けください

